

地域学修報告 一覧 (2023年度)

【学内/学生向け】

NO	担当	活動名	実施日
1	日本文学科	「おのみち文化スタディ」 日本文学科の新入生歓迎行事の一つ。上級学生スタッフと教員が新入生と一緒に尾道を散策する。	2023年5月13日 (土) 散策、 2023年6月8日 (木) 事後発表会
2		「フィールドワーク」 日本文学科3年生以上を対象とする授業。フィールドワークの基礎知識を実習とともに学ぶ。	通年 (前期～後期授 業期間)
3	尾道市立大学 日本文学会	「おのみち文学三昧プレミアムの特別企画」 ライト文芸作家・三川みりさんと藤沢毅学長による対談と質問コーナー、ビブリオバトル。	2023年11月3日 (金)
4	美術学科	「地域プレゼンテーション課題2023」 尾道地域または自身の出身地域を題材にして作品制作を行い、本学美術館での展示とギャラリートーク、また、広島県中小企業家同友会の協力を得て、しまなみ交流館で尾道市地域の方をアドバイザーとして向かえて発表会を開催した。	2023年度後期
5		「モノクローム写真課題 フォトウォーク」 デザイン実習Ⅰの選択課題「モノクローム写真」のうち1回、尾道市街地をスナップ撮影していくフォトウォークを実施した。	2023年度前期
6		「風景スケッチ課題」 美術館見学とスケッチ。	2023年4月18日 (火)
7	地域総合 センター	「科目『尾道学入門』」 教養教育科目の講義。尾道の歴史・文化・経済等に関する知識を修得する。	2023年度前期
8	「尾道の町の顔」 研究会 (森本 幾 子・吉田 宰・藤 本 真理子)	「フィールドワーク「吉源酒造場」」 尾道市内にある「吉源酒造場」に教員と学生で赴き、フィールドワークを実施した。	2024年2月7日 (水)
9	井本 伸 (経済情報学科)	「ゼミ：他大学の学生との交流」 関西大学にて、関西大学・広島大学の学生と合同ゼミ (研究発表、グループディスカッション)	2023年9月30日 (土)

10	井本 伸 (経済情報学科)	「ゼミ：他大学との交流」 広島大学にて、広島大学の学生と合同ゼミ（卒業論文発表会）	2023年12月16日 (土)
11	太田 啓介 (非常勤講師)	「景観デザインと地域活性化」 大学院科目「デザイン学特講」の中で、尾道の景観デザインを分析していくことで、地域活性化について学んでいく。	2023年度前期
12	岡本 隼輔 (経済情報学科)	「フィールドワーク：愛媛県松山市における廃棄物処理施設の視察」 学生とともに地域経済と環境問題について考察するためのフィールドワーク実施。	2023年5月25日 (木)
13		「フィールドワーク：広島県東広島市における地域振興等の視察」 学生とともに地域振興策について考察するためのフィールドワーク実施。	2023年7月28日 (金)
14		「フィールドワーク：兵庫県（南あわじ市、神戸市）における地域振興等の視察」 学生とともに治水整備や地域産業について考察するためのフィールドワーク実施。	2023年9月11日 (月)
15	木村 文則 (経済情報学科)	「尾道商業高校 総合的な探究学習への参加」 学生が1名参加し、高校生の発表に対するコメントおよび助言を行った。	2023年6月
16		「尾道市主催プログラミング教室 ボランティア」 木村ゼミの学生6名が参加し、尾道市主催の小学生向けプログラミング教室での質問対応サポートを行った。	2023年9月2日 (土)、3日(日)
17	栗田 広暁 (経済情報学科)	「科目『地方財政論』」 科目「地方財政論」の第4回授業で、地域に関わる資料「尾道市令和5年度当初予算の概要」を教材にした。	2023年度前期
18		「科目『地方財政論』」 科目「地方財政論」の第7回授業で、尾道市公表資料「財政健全化判断比率・資金不足比率の公表について」を教材にした。	2023年度前期
19		「科目『地方財政論』」 科目「地方財政論」の第14回授業で、地域に関わる資料「尾道市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画」を教材とした。	2023年度前期

20	高垣 俊之 (日本文学科)	<p>「Onomichi and Literature」</p> <p>科目「日本文学のための英語」の第14回授業で、尾道ゆかりの作品を英語で読みます。</p>	2024年1月16日 (火)
21	趙 怡純 (経済情報学科)	<p>「グループ研究」</p> <p>ゼミでチームに分かれてグループ研究を行いました。「経営学に関わる内容もしくは尾道の企業に関わる内容」というテーマを出したところ、あるチームがまるか食品株式会社を取り上げて研究を進めました。実際に会社に訪問し、工場見学とインタビュー調査を実施しました。最終的に「中小企業の海外進出と地域貢献ーまるか食品の事例を通じてー」という題目をつけて研究成果をまとめ上げました。2024年2月には他大学と合同ゼミ（東北学院大学、武庫川女子大学、阪南大学、尾道市立大学）を行い、研究成果を報告しました。その際、他大学の学生や教員から大変高い評価をいただきました。</p>	2023年度前期
22	中村 譲 (美術学科)	<p>「芸術的視点を取り入れた幼児教育事業」</p> <p>美術学科の教員と学生が講師として、尾道市内の幼稚園に赴き、園児を対象とした、「砂子絵を体験する活動」や「絵具を用いた絵画技法を体験する活動」を行った。</p>	2023年6月26日 (月)、7月11日 (火)、7月18日 (火)、10月31日 (火)、11月8日 (水)、11月17日 (金)
23	野田 尚之 (非常勤講師)	<p>「写真課題のためのフォトウォーク」</p> <p>久山田町周辺、尾道市街、向島など授業内の複数回でフォトウォークを実施して、それぞれの景色や建物などを撮影して写真作品を制作していく。</p>	2023年度前期、後期
24	藤井 佐美 (日本文学科)	<p>「科目『民話研究』」</p> <p>尾道の民話・行事等の伝承状況について、保存された映像・音声等の資料とともに解説した。</p>	2023年度後期
25		<p>「科目『瀬戸内文化論』」</p> <p>しまなみ海道をめぐる伝承文化の事例紹介と島々の歴史解説をおこなった。</p>	2023年度前期
26		<p>「科目『民俗学2』」</p> <p>民間伝承を映像等の傍証資料から紹介し、地域社会における問題点と対応策についての考察を促した。</p>	2023年度後期

27		<p>「科目『伝承文学専門演習 b』」</p> <p>尾道の民話資料を輪読し、履修者の調査・研究成果を授業で共有し討議をおこなった。</p>	2023年度後期
28		<p>「科目「文化財学」」</p> <p>オムニバス授業において尾道の様々な文化財の解説をおこない、フィールドワークも実施した。</p>	2023年度後期
29	真野 洋介 (非常勤講師)	<p>「尾道の景観デザインのフィールドワーク」</p> <p>大学院科目「デザイン学特講」の第7回授業で、尾道商店街や斜面地のフィールドワークを通して景観デザインと地域活性化について考えていった。</p>	2023年9月27日 (水)
30	森本 幾子 (経済情報学科)	<p>「尾道フィールドワーク」</p> <p>持光寺において尾道の歴史についてのレクチャーを聞く。</p>	2023年度前期
31		<p>「尾道フィールドワーク」</p> <p>尾道市のコワーキングスペースにおいて、地域の情報交換の場の活用方法を学ぶ。尾道の港としての成り立ちを現地のフィールドワークによって学ぶ。</p>	2023年度後期
32		<p>「尾道フィールドワーク」</p> <p>向島ドックを見学し、社長および広報担当の方の話をお聞きすることによって、尾道の歴史的産業の成り立ちと現在の状況について学ぶ。</p>	2023年度後期
33		<p>「経済情報学科選択必須科目「地域経済史」」</p> <p>近代の尾道商人と北前船商人の取引を記した仕切状の解読、尾道商人の資産と文化への富の還元について、近世期に尾道を訪れた旅人と地域経済や社会との関係についての講義。</p>	2023年度前期
34		山本 賢太郎 (非常勤講師)	<p>「科目『地域の伝統文化（囲碁）』」</p> <p>尾道市の市技である囲碁を身につけ、尾道のより一層の理解に役立てる。</p>